

「沼津市地域公共交通網形成計画」のパブリック・コメント

の実施結果について

1. 実施状況

実施期間：令和元年12月12日（木）～令和2年1月10日（金）

提出者数：2名

意見数：3件

2. 提出された意見と市の考え方

① 4-4 計画の達成状況の評価

基本方針「行きたいまち、住みたいまち。～公共交通の改善により、選ばれるまちへ～」は、“行きたいまち”が「沼津に観光に訪れてもらいたい」、「住みたいまち」が「沼津に移住してきてもらいたい」という沼津市民以外の人々を対象にした方針（方向性）に捉えられる。

基本方針に基づき、3つの目標が設定されているが、第4章 4-4計画の達成状況の評価にて、この達成度を評価する指標等の中で「市民1人あたり～」という沼津市民のみを対象とする表記がされている。これら評価指標の算出根拠の各種乗車人数、利用者数、及び交通量の値は「沼津市民以外の人々も含めたもの」であり、この値から「市民1人あたり」という目標を設定することやその評価をすることは不適切であり、基本方針とも整合しない。

「市民1人あたり～回増加を目標」という表記も「目標達成のための利用促進を沼津市民のみに求めている」という印象を持たれかねず、沼津市内、市外を問わず全ての公共交通利用者のために策定すべき本計画に、記載すべきものではないと考える。

○ 市の考え方

- ・来訪者も対象として含んでいるが、市民に引き続き住んでいただき、おでかけしたくなるようなにぎわいのあるまちを目指していく考えを示したものである。
- ・指標の数値目標については、市民や観光客などの公共交通利用により達成を目指しているものであるが、観光客数は、年あるいは季節によって大きな変動が生じることがある。このため、目標に対する管理数値としては、市民1人あたりと設定する。
- ・市民1人あたりとすることにより、市民が自分事として捉えることも期待する。
- ・以上より修正なし。

② 4-4 計画の達成状況の評価

令和7年度における各目標値（5箇所）全てが現況値（平成30年度結果）と同一の値で表記されており、現状維持を目標としているとしても、あまりにも安易な目標値という感を受ける。本文中では、目標値のみを掲げ、現況値については、参考別記扱いとして同じ個所で比較させないほうがよいと思う。

過去の結果（事実）を報告する数値ではなく、将来を予測する数値であるので、細かく1人単位まで表記せず、例えば1,000人単位に丸める（例：45,837人/日ならば46,000人/日）のほうが区切りもよく、印象に残る数値になるものと考ええる。

○ 市の考え方

- ・わかりやすい行動目標を指標とすることとし、市民1人あたりの公共交通の利用回数とまちなかへの来訪回数を指標として設定する。
- ・小数点での表記を整数に修正する。
- ・公共交通利用者数は参考扱いとし、区切りの良い100人単位に丸めた数値で表記する。

③ 4-4 計画の達成状況の評価

立地適正化計画においても、「中心市街地歩行者・自転車交通量」を指標として用いているが、数値が異なっている。（平成30年度（現況値）など）

その理由は、交通量をカウントする際の抽出地点が異なっているためと思われるが、あえて異なる地点を抽出する特別な理由がなければ、両計画で同じ地点を抽出し、同じ数値を進捗管理していく方が分かりやすいのではないか。

○ 市の考え方

- ・沼津市立地適正化計画との整合を図るため、調査地点を合わせ、目標数値を修正する。

4-4 計画の達成状況の評価

本計画に位置付けた3つの計画目標に対する評価指標として、以下①②の2つの指標を設定します。毎年、進捗状況を把握し適切な管理を行うため、経年で取得しているデータにより実績値を算出します。

計画目標1：おでかけの手段として選ばれる公共交通

計画目標2：市民とともに支え育む公共交通

計画目標3：まちなのにぎわいをサポートする公共交通

指標① 公共交通利用回数



本計画に位置付けた各種施策の展開により、公共交通の利用を増加させ、運行サービスの維持向上を目指しています。このため、今後の人口減少の影響を考慮しても、公共交通利用者数を現状以上とするため、年間利用回数を3回増加させることを目標とします。

現況値：85回/年（平成30年度） → 目標値：88回/年（令和7年度）
〔公共交通利用者数 45,837人/日 → 45,900人/日〕

指標② まちなかへの来訪回数



本計画に位置付けた各種施策の展開により、中心市街地への移動をスムーズにし、おでかけ機会を創出することで、まちなのにぎわいに寄与することを目指しています。このため、今後の人口減少の影響を考慮しても、中心市街地歩行者交通量を現状以上とするため、まちなかへの年間来訪回数を2回増加させることを目標とします。

現況値：40回/年（平成30年度） → 目標値：42回/年（令和7年度）
〔中心市街地歩行者通行量 63,851人/日 → 63,900人/日〕

指標①と指標②の関係性

指標① 公共交通利用回数

公共交通利用回数を市民1人あたり3回増加することにより、公共交通利用者数を現状以上にすることができます。

指標② まちなかへの来訪回数

まちなかへの来訪回数を市民1人あたり2回増加することにより、中心市街地歩行者通行量を現状以上にすることができます。

まちなかに、公共交通を利用し2回おでかけすると、往復で公共交通利用が4回増加となり、目標を達成することができます！

【参考】評価指標算出根拠

●人口推移について

- ・人口の将来推計については、「沼津市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（市推計値）」を基本としますが、「沼津市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（市推計値）」は平成22年国勢調査をベースとしており、同年の住民基本台帳の人口と開きがあります。また、公表される推計値は5年毎となっています。
- ・適切な進捗管理を行うには、毎年公表される住民基本台帳の人口を基本として考える必要があるため、「沼津市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（市推計値）」の減少率（H27→R7：-5.5%）をもとに、住民基本台帳での人口を予測すると以下の表になり、計画目標年次の令和7年の人口は190,707人として、評価指標の妥当性を確認します。

和暦	西暦	人口			
		平成27年：国勢調査 令和7年：人口ビジョン		住民基本台帳人口 4月(3月末時点)	
平成27年	2015年	195,633	100.0%	201,804	100.0%
平成28年	2016年	-	-	199,901	99.1%
平成29年	2017年	-	-	198,124	98.2%
平成30年	2018年	-	-	196,530	97.4%
...
令和7年	2025年	184,875	94.5%	190,707	94.5%

※斜体太字は推計人口

【参考】 (1) 評価指標① 公共交通利用回数

1) 指標①-1 鉄道乗車回数 (市内4駅)

- ・沼津市統計資料に掲載されている「1日平均乗車人員」から算出される市民1人あたりの年間利用回数を評価指標としました。
- ・平成30年度(現況)の鉄道乗車人数は26,939人/日、住民基本台帳人口をもとに算出した市民1人あたりの年間利用回数は50回/年でした。
- ・令和7年度(将来)の目標値は、現況値の鉄道乗車人数を100人単位で切り上げた27,000人/日、将来の人口予測をもとに算出した市民1人あたりの年間利用回数は51.7回/年、少数を四捨五入し52回/年としました。

和暦	西暦	人口		鉄道乗車人数						
		住民基本台帳人口 4月(3月末時点)		沼津駅	片浜駅	原駅	大岡駅	4駅合計	市民一人当たり利用回数(回/年) (4駅合計×365÷住民人口)	少数以下丸め
平成30年	2018年	196,530	97.4%	20,829	2,479	2,314	1,317	26,939	50.0	50
...
令和7年	2025年	190,707	94.5%	-	-	-	-	27,000	51.7	52

※斜体太字は推計値

2) 指標①-2 路線バス乗車回数

- ・沼津市統計資料に掲載されている「1日平均乗車人員」から算出される市民1人あたりの年間利用回数を評価指標としました。
- ・平成30年度(現況)の路線バス乗車人数は14,000人/日、住民基本台帳人口をもとに算出した市民1人あたりの年間利用回数は26回/年でした。
- ・令和7年度(将来)の目標値は、現況値の路線バス乗車人数を100人単位で切り上げた14,000人/日、将来の人口予測をもとに算出した市民1人あたりの年間利用回数は26.8回/年、少数を四捨五入し27回/年としました。

和暦	西暦	人口		バス乗車人数		
		住民基本台帳人口 4月(3月末時点)		1日平均乗車人員 (人/日)	市民一人当たり利用回数(回/年) (利用者数×365÷住民人口)	少数以下丸め
平成30年	2018年	196,530	97.4%	14,000	26.0	26
...
令和7年	2025年	190,707	94.5%	14,000	26.8	27

※斜体太字は推計値

3) 指標①-3 タクシー利用回数

- ・静岡県タクシー協会による「年間輸送人員」をもとに、「1日平均輸送人員」を算出し、市民1人あたりの年間利用回数を評価指標としました。
- ・平成30年度(現況)の1日平均輸送人員は4,898人/日、住民基本台帳人口をもとに算出した市民1人あたりの年間利用回数は9回/年でした。
- ・令和7年度(将来)の目標値は、現況値の1日平均輸送人員を100人単位で切り上げた4,900人/日、将来の人口予測をもとに算出した市民1人あたりの年間利用回数は9.4回/年、少数を四捨五入し9回/年としました。

和暦	西暦	人口		タクシー利用者数			
		住民基本台帳人口 4月(3月末時点)		輸送人員(人/年)	1日平均輸送人員 (人/日)	市民一人当たり利用回数(回/年) (1日平均輸送人員×365÷住民人口)	少数以下丸め
平成30年	2018年	196,530	97.4%	1,787,782	4,898	9.1	9
...
令和7年	2025年	190,707	94.5%	1,787,782	4,900	9.4	9

※斜体太字は推計値

【参考】 指標② まちなかへの来訪回数

- ・沼津市において毎年7月上旬の日曜日に調査を実施している「中心市街地歩行者通行量調査」における数値目標地点 14 地点（下表赤字）における歩行者通行量調査結果（※自転車含む）から算出される市民1人あたりの年間来訪回数を評価指標としました。

歩行者通行量

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
調査地点	H26.7.13 (曇のち雨)	H27.7.12 (晴れ一時雨)	H28.7.10 (晴れ)	H29.7.9 (晴れ)	H30.7.8 (晴れ)	R1.7.7 (曇り)
(1) 沼津高島郵便局前	1,363	1,355	1,344	1,366	1,428	1,397
(2) 旧高島屋前	3,296	3,161	3,377	3,148	2,930	3,552
(3) スルガレジャーセンター前	5,419	3,983	4,472	4,436	4,116	4,335
(4) ファミリーマート前	5,451	4,557	4,909	3,876	3,229	4,636
(5) 北口駅前広場西側	3,699	3,541	3,238	2,779	2,705	3,957
(6) BiViぬまづ北側	3,567	3,526	3,808	2,776	3,126	2,791
(7) BiViぬまづ西側	7,082	8,138	8,420	8,613	5,447	6,168
(8) あまねガード	4,686	5,517	5,399	4,423	4,593	5,740
(9) イーラde東側	12,024	11,806	12,865	13,804	10,024	12,492
(10) 駅前広場	5,971	5,048	5,030	7,158	4,747	5,477
(11) タリーズコーヒー前	13,094	12,724	11,386	10,210	9,140	12,794
(12) フジワラ時計店前	3,485	2,281	2,514	2,559	2,789	3,409
(13) 大久保商店前	1,903	1,646	2,762	2,217	2,562	2,918
(14) 原田衣料店前	10,982	10,012	9,641	9,591	9,372	14,021
(15) SMBC日興証券前	2,766	2,210	2,341	2,389	2,179	2,764
(16) 野村證券前	3,412	2,967	2,792	3,064	2,398	3,394
(17) 旧メンズプラザゴトー前	6,904	7,684	6,681	7,035	7,715	12,550
(18) 旧ポウルビル前	623	635	631	675	758	920
(19) ドールハウスキムラ前	850	723	728	807	685	959
(20) 商連駐車場前	816	938	1,035	905	960	1,201
(21) 旧長崎屋前	2,625	2,451	2,558	2,408	2,369	2,995
(22) あゆみ橋	1,371	1,541	1,487	1,264	1,195	1,301
(23) 正秀刃物店前	592	602	666	515	681	687
(24) 池田青果店前	767	776	738	557	593	693
(25) つちくら前	2,813	2,112	2,373	2,207	2,921	4,150
(26) 四泉堂前	821	1,183	1,061	1,122	1,308	1,527
(27) 静岡中央銀行前	885	1,158	1,097	1,248	1,300	1,718
(28) メディオ薬局前	1,147	1,248	1,262	955	1,038	1,286
(29) ナティ前	1,148	1,495	1,462	1,532	1,563	2,408
合計	109,562	105,018	106,077	103,639	93,871	122,240
合計(数値目標地点)※赤字	77,841	76,013	74,868	75,317	63,851	86,211

※自転車含む

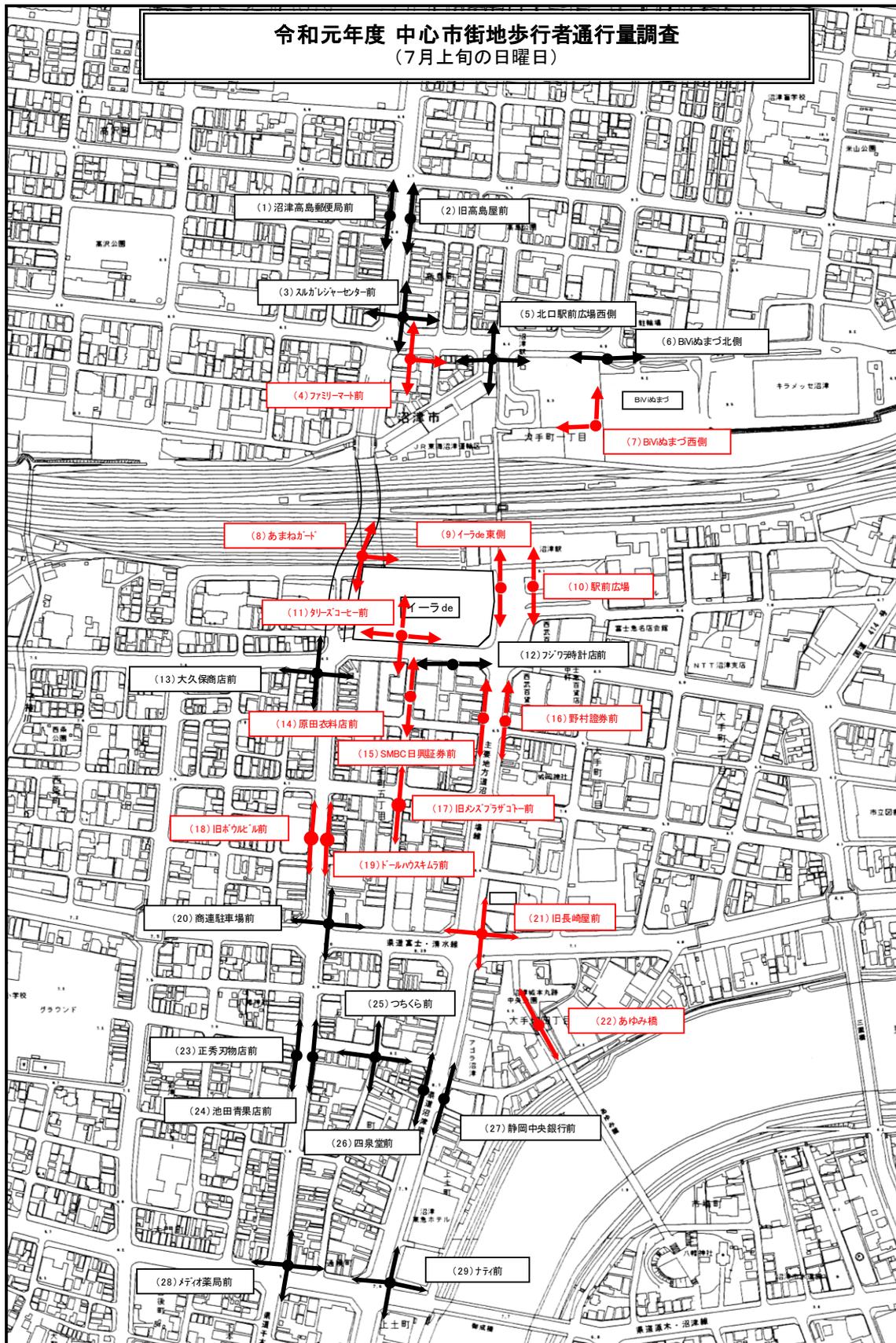
- ・平成30年度（現況）の中心市街地歩行者通行量 63,851 人/日、住民基本台帳人口をもとに算出した市民1人あたりの年間来訪回数は 40 回/年でした。
- ・令和7年度（将来）の目標値は、現況値の中心市街地歩行者通行量を 100 人単位で切り上げた 63,900 人/日、将来の人口予測をもとに算出した市民1人あたりの年間来訪回数は 41.5 回/年、少数を四捨五入し 42 回/年としました。

和暦	西暦	人口		中心市街地歩行者通行量		
		住民基本台帳人口 4月(3月末時点)	97.4%	1日中心市街地歩行者通行量 (休日)	市民一人当たり中心部来訪回数(回/年) (1日平均来訪者数×124÷住基人口)	少数以下丸め
平成30年	2018年	196,530	97.4%	63,851	40.3	40
...
令和7年	2025年	190,707	94.5%	63,900	41.5	42

※年間休日日数を124日とし1人当たりの年間来訪回数を設定

※斜体太字は推計値

■ 中心市街地歩行者通行量調査地点（赤塗地点が継続調査地点 14 地点）



4-4 計画の達成状況の評価

本計画で位置付けた基本方針を実現するために設定した計画目標に対する評価指標は、適切な進捗管理と把握を行うため、経年で取得できるデータを基本とし設定しました。

計画目標1：おでかけの手段として選ばれる公共交通

計画目標2：市民とともに支え育む公共交通

に対する指標

指標① 公共交通利用者数



市民からおでかけの手段として公共交通が選ばれたか、公共交通が支え育まれたかを評価する指標として鉄道乗車人数、路線バス乗車人数、タクシー利用者数を評価します。

今後の人口減少の影響を踏まえると、市民1人あたりの年間利用回数が約2.6回増加することにより、現況値の維持としての目標値を達成できます。

現況値：45,837人/日（平成30年度）→目標値45,837人/日（令和7年度）

〔市民1人あたり 85.1回/年 → 87.7回/年〕

【参考】公共交通利用者数の内訳

上記の公共交通利用者数については、沼津市が毎年把握している市内4駅の乗車人員、市内路線バスの乗車人員、タクシー協会から提供されるタクシーの乗車人員に基づいています。各交通機関のそれぞれの内訳を参考に示します。

指標①-1 鉄道乗車人数（市内4駅）



現況値：26,939人/日（平成30年度）→目標値：26,939人/日（令和7年度）

〔市民1人あたり 50.0回/年 → 51.6回/年〕

指標①-2 路線バス乗車人数



現況値：14,000人/日（平成30年度）→目標値：14,000人/日（令和7年度）

〔市民1人あたり 26.0回/年 → 26.8回/年〕

指標①-3 タクシー利用人数



現況値：4,898人/日（平成30年度）→目標値：4,898人/日（令和7年度）

〔市民1人あたり 9.1回/年 → 9.4回/年〕

計画目標3：まちのにぎわいをサポートする公共交通

に対する指標

指標② 中心市街地歩行者・自転車交通量



人口が減少するなか、公共交通を利用して中心市街地への来訪者数を維持することでまちのにぎわいに公共交通が寄与できたかを評価します。

今後の人口減少の影響を踏まえると、市民1人あたりの中心部への年間来訪回数が約1回増加することにより、現況値の維持としての目標値を達成できます。

現況値：43,326人/日（平成30年度）→目標値43,326人/日（令和7年度）

〔市民1人あたり 27.3回/年 → 28.2回/年〕

沼津市において毎年7月上旬の日曜日に毎年調査を実施している「中心市街地歩行者交通量調査」における継続調査地点12地点における歩行者交通量調査結果（※自転車含む）を指標として用います。

指標①と指標②の関係性

「指標① 公共交通利用者数」、「指標② 中心市街地歩行者・自転車交通量」の目標を合わせ、公共交通を使ってまちなかへのお出かけ回数を1人1回増やすことで目標とする指標の達成に近づきます。

指標① 公共交通利用者数
利用者数の維持は市民1人あたり約2.6回増加することにより、現況値の維持としての目標値を達成できます。

指標② 中心市街地歩行者・自転車交通量
中心市街地歩行者量・自転車交通量の維持は市民1人あたり約1回増加することにより、現況値の維持としての目標値を達成できます。

まちなかに、公共交通を使ってお出かけすると
往復で公共交通利用が2回増加、中心市街地への来訪が1回増加となり
目標とする指標の実現に近づきます！

【参考】評価指標算出根拠

●人口推移について

- ・人口の将来推計については、「沼津市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（市推計値）」を基本としますが、「沼津市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（市推計値）」は平成22年国勢調査をベースとしており、同年の住民基本台帳の人口と開きがあります。また、公表される推計値は5年毎となっています。
- ・適切な進捗管理を行うには、毎年公表される住民基本台帳の人口を基本として考える必要があるため、「沼津市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（市推計値）」の減少率（H27→R7：-5.5%）をもとに、住民基本台帳での人口を予測すると以下の表になり、計画目標年次の令和7年の人口は190,707人として、評価指標の妥当性を確認します。

和暦	西暦	人口			
		平成27年：国勢調査 令和7年：人口ビジョン		住民基本台帳人口 4月(3月末時点)	
平成27年	2015年	195,633	100.0%	201,804	100.0%
平成28年	2016年	-	-	199,901	99.1%
平成29年	2017年	-	-	198,124	98.2%
平成30年	2018年	-	-	196,530	97.4%
...
令和7年	2025年	184,875	94.5%	190,707	94.5%

※斜体太字は推計人口

(1) 評価指標① 公共交通利用者数

1) 指標①-1 鉄道乗車人数（市内4駅）

- ・沼津市統計資料に掲載されている「1日平均乗車人員」を評価指標としました。
- ・平成30年度（現況）の鉄道乗車人数は26,939人/日、住民基本台帳人口をもとに算出した市民1人あたりの年間利用回数は50.0回/年でした。
- ・令和7年度（将来）の目標値は、現状維持の26,939人/日、将来の人口予測をもとに算出した市民1人あたりの年間利用回数は51.6回/年となります。

和暦	西暦	人口		鉄道乗車人数					市民一人当たり利用回数(回/年) (4駅合計×365÷住基人口)
		住民基本台帳人口 4月(3月末時点)		沼津駅	片浜駅	原駅	大岡駅	4駅合計	
平成30年	2018年	196,530	97.4%	20,829	2,479	2,314	1,317	26,939	50.0
...
令和7年	2025年	190,707	94.5%	-	-	-	-	26,939	51.6

※斜体太字は推計値

2) 指標①-2 路線バス乗車人数

- ・沼津市統計資料に掲載されている「1日平均乗車人員」を評価指標としました。
- ・平成30年度（現況）の路線バス乗車人数は14,000人/日でした。住民基本台帳人口をもとに算出した市民1人あたりの年間利用回数は26.0回/年でした。
- ・令和7年度（将来）の目標値は、現状維持の14,000人/日とし、将来の人口予測をもとに算出した市民1人あたりの年間利用回数は26.8回/年となります。

和暦	西暦	人口		バス乗車人数	
		住民基本台帳人口 4月(3月末時点)		1日平均乗車人員 (人/日)	市民一人当たり利用回数(回/年) (利用者数×365÷住基人口)
平成30年	2018年	196,530	97.4%	14,000	26.0
...
令和7年	2025年	190,707	94.5%	14,000	26.8

※斜体太字は推計値

3) 指標①-3 タクシー利用者数

- ・静岡県タクシー協会による「年間輸送人員」をもとに、「1日平均輸送人員」を算出し、評価指標としました。
- ・平成30年度（現況）の1日平均輸送人員は4,898人/日でした。住民基本台帳人口をもとに算出した市民1人あたりの年間利用回数は9.1回/年でした。
- ・令和7年度（将来）の目標値は、現状維持の4,898人/日とし、将来の人口予測をもとに算出した市民1人あたりの年間利用回数は9.4回/年となります。

和暦	西暦	人口		タクシー利用者数	
		住民基本台帳人口 4月(3月末時点)		1日平均輸送人員 (人/日)	市民一人当たり利用回数(回/年) (1日平均輸送人員×365÷住基人口)
平成30年	2018年	196,530	97.4%	4,898	9.1
...
令和7年	2025年	190,707	94.5%	4,898	9.4

※斜体太字は推計値

(2) 指標② 中心市街地歩行者・自転車交通量

- ・沼津市において毎年7月上旬の日曜日に調査を実施している「中心市街地歩行者交通量調査」における継続調査地点12地点（下表黄色塗地点）における歩行者交通量調査結果（※自転車含む）を指標として用います。
- ・平成30年度（現況）の中心市街地歩行者・自転車交通量は、43,326人/日（下表赤枠）になっています。

歩行者通行量

調査地点	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	H26.7.13 (曇のち雨)	H27.7.12 (晴れ一時雨)	H28.7.10 (晴れ)	H29.7.9 (晴れ)	H30.7.8 (晴れ)	R1.7.7 (曇り)
(1)沼津高島郵便局前	1,363	1,355	1,344	1,366	1,428	1,397
(2)旧高島屋前	3,296	3,161	3,377	3,148	2,930	3,552
(3)スルガレジャーセンター前	5,419	3,983	4,472	4,436	4,116	4,335
(4)ファミリーマート前	5,451	4,557	4,909	3,876	3,229	4,636
(5)北口駅前広場西側	3,699	3,541	3,238	2,779	2,705	3,957
(6)BiViぬまづ北側	3,567	3,526	3,808	2,776	3,126	2,791
(7)BiViぬまづ西側	7,082	8,138	8,420	8,613	5,447	6,168
(8)あまねガード	4,686	5,517	5,399	4,423	4,593	5,740
(9)イーラde東側	12,024	11,806	12,865	13,804	10,024	12,492
(10)駅前広場	5,971	5,048	5,030	7,158	4,747	5,477
(11)タリーズコーヒー前	13,094	12,724	11,386	10,210	9,140	12,794
(12)フジワラ時計店前	3,485	2,281	2,514	2,559	2,789	3,409
(13)大久保商店前	1,903	1,646	2,762	2,217	2,562	2,918
(14)原田衣料店前	10,982	10,012	9,641	9,591	9,372	14,021
(15)SMBC日興証券前	2,766	2,210	2,341	2,389	2,179	2,764
(16)野村證券前	3,412	2,967	2,792	3,064	2,398	3,394
(17)旧メンズプラザゴトー前	6,904	7,684	6,681	7,035	7,715	12,550
(18)旧ポウルビル前	623	635	631	675	758	920
(19)ドールハウススキムラ前	850	723	728	807	685	959
(20)商連駐車場前	816	938	1,035	905	960	1,201
(21)旧長崎屋前	2,625	2,451	2,558	2,408	2,369	2,995
(22)あゆみ橋	1,371	1,541	1,487	1,264	1,195	1,301
(23)正秀刃物店前	592	602	666	515	681	687
(24)池田青果店前	767	776	738	557	593	693
(25)つちくら前	2,813	2,112	2,373	2,207	2,921	4,150
(26)四泉堂前	821	1,183	1,061	1,122	1,308	1,527
(27)静岡中央銀行前	885	1,158	1,097	1,248	1,300	1,718
(28)メディオ薬局前	1,147	1,248	1,262	955	1,038	1,286
(29)ナティ前	1,148	1,495	1,462	1,532	1,563	2,408
合計	109,562	105,018	106,077	103,639	93,871	122,240
合計(継続調査地点)※黄セル	50,548	47,698	45,455	44,784	43,326	61,163
合計(数値目標地点)※赤字	77,841	76,013	74,868	75,317	63,851	86,211

※自転車を含む

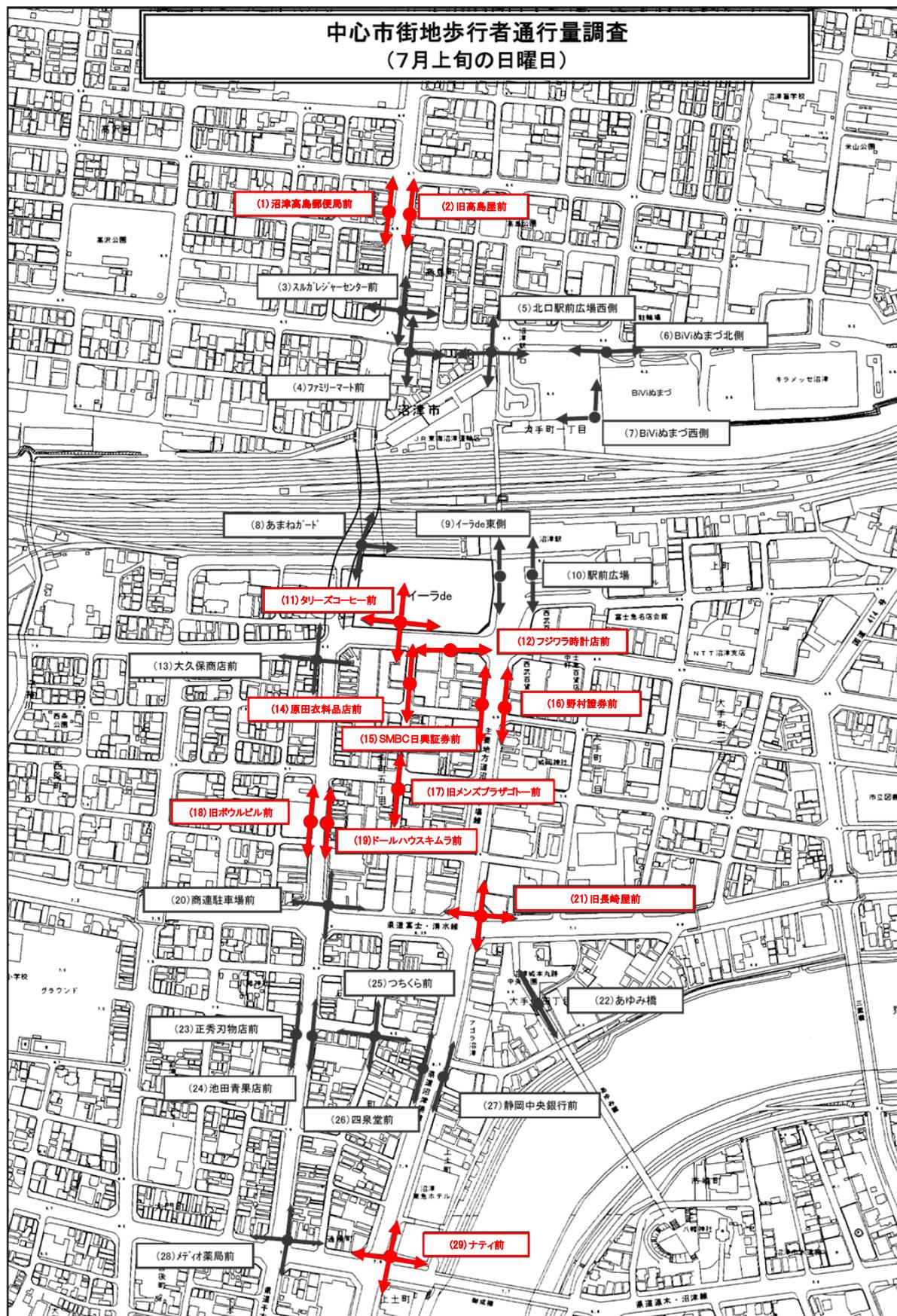
- ・平成30年度（現況）の中心市街地歩行者・自転車交通量43,326人/日に対して、住民基本台帳人口をもとに算出した市民1人あたりの年間来訪回数は27.3回/年でした。
- ・令和7年度（将来）の目標値は、現状維持の43,326人/日とし、将来の人口予測をもとに算出した市民1人あたりの年間来訪回数は、28.2回/年となります。

和暦	西暦	人口		中心市街地歩行者・自転車交通量	
		住民基本台帳人口 4月(3月末時点)	97.4%	1日中心市街地歩行者・自転車交通量 (休日)	住民一人当たり中心部来訪回数(回/年) (1日平均来訪者数×124÷住基人口)
平成30年	2018年	196,530	97.4%	43,326	27.3
...		
令和7年	2025年	190,707	94.5%	43,326	28.2

※年間休日日数を124日とし1人当たりの年間来訪回数を設定

※斜体太字は推計値

■中心市街地歩行者・自転車交通量調査地点(赤塗地点が継続調査地点12地点)



2. 計画の目標・効果

今後、本計画に位置付けた、都市機能誘導・居住誘導・公共交通（ネットワーク）に係る施策の展開により、「コンパクト＋ネットワーク」の都市構造*を目指すにあたり、その進捗・達成状況を分析・評価するため、目標指標を設定します。

(1) 目標指標

① 都市機能誘導施策関連

【誘導施策の方向】

- ・ 中心市街地の活性化
- ・ 各拠点周辺の充実
- ・ まちなか居住促進
- ・ 既存ストック*の有効利用
- ・ 民間活動を促進
- ・ 交通結節点の充実
- 等

【目標指標①】 中心市街地の居住人口の維持、交流人口の増加

- ・ 立地適正化計画の取組により、「ヒト・モノ・コト」を中心市街地に引き込むことで、まちなかにぎわいの向上や新たなまちなかの魅力を創出し、居住人口の維持・交流人口の増加を目指します。

	目標指標	現況値：平成 30 年（2018 年）	目標値：平成 48 年（2036 年）
A	中心市街地の歩行者・自転車通行量	63,851 人	80,000 人以上
B	中心市街地の居住者数	21,682 人	21,000 人以上

【指標Aの設定について】

- ・ 市が計測している中心市街地の歩行者・自転車通行量を対象とします。
- ・ かつて沼津市の中心市街地は、「静岡県東部地域のハレの場」であり、人の往来が絶えないエリアでした。しかし、近年は、人口減少、人々の買物行動の多様化などで、通行量の低下がみられます。
- ・ これに対し、沼津駅周辺総合整備事業を中心とした総合的なまちづくりにより、まちなかに人が集まる「場」の創出、まちなかの駅南北をつなぐ「軸」の強化、まちなかの滞在時間の向上等を進めることで、中心市街地の歩行者・自転車通行量の増加を図ります。

【指標Bの設定について】

- ・ 住民基本台帳における第一・第五地区の居住者数を対象とします。
- ・ 沼津市の中心市街地では、人口が減少傾向にありますが、町方町・通横町地区第一種市街地再開発事業や沼津駅周辺総合整備事業、リノベーションまちづくり*等により、魅力ある質の高い居住環境の整備や戦略的な居住機能の創出を進め、中心市街地の居住者数を維持します。

都市機能誘導施策により、「ヒト・モノ・コト」の流れを引き込み、中心市街地を活性化